



地域医療連携ニュース

発行：兵庫県立加古川医療センター 〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地 <http://www.kenkako.jp/>
TEL：079-497-7000(代表) TEL：079-497-7011(地域医療連携部直通) FAX：079-438-3756(地域医療連携部直通)

| | | | | |
|---|--------------|---|---------------|---|
| も | ● 新年のご挨拶 | 1 | ● リウマチ膠原病センター | 5 |
| く | ● 県かこ県民フォーラム | 2 | ● 検査部 | 6 |
| じ | ● 総合内科 | 3 | ● 血液浄化センター | 7 |
| | ● 眼科 | 4 | ● 外来診療表 | 8 |

新年挨拶



院長 田中宏和

新年、あけましておめでとうございます。平素より当センターの運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症が終息せず、年末から5月にかけて第6波に、7月から10月にかけて第7波、11月からは第8波にみまわれ、新型コロナウイルス感染症の兵庫県の拠点病院である当センターも多くの患者を受け入れました。その事により、通常医療の制限を余儀なくされ、医師会の先生方をはじめ、地域の保健、医療、介護、福祉に関わっておられる皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

コロナ感染で入院される患者さんは、数だけでいうとあまり減ってはいませんが、第1波から第3波の頃と明らかに違うのは、コロナ感染そのものによる重症者が極めて少ないということです。これは、高齢者や基礎疾患を有する人へのワクチン接種が普及したからだと思われます。コロナウィルスがこの世からなくなることはない以上、われわれ人類も、上手につきあっていく必要があります。コロナ前の日常をすべて捨て去る事はできません。ただ、感染リスクをできるだけ少なくし、重症化させないことが肝要であり、私も含めた高齢者は、インフルエンザ同様、年に1回はワクチン接種が必要と割り切る必要があります。また、昨年は、ロシアのウクライナ侵攻、安倍元首相の銃撃事件、円安による物価高などで暗い1年でしたが、卯年は「飛躍」や「向上」の年と言われております。コロナで落ち込んだ3年間から大きく「飛躍」し、皆様方の生活が大きく「向上」することを祈っております。

加古川医療センターは、本年も「やさしさとぬくもりのある質の高い医療を実践し、地域の基幹病院として住民の安心に貢献します」という当センターの理念を大切にし、地域住民の皆様から信頼され、安心してかかっていただけ地域の基幹病院としての役割を果たしていきたいと考えています。そのためにも、地域の医療・介護機関とのさらなる連携を推進して参りたいと存じますので、引き続きのご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

第14回県かこ県民フォーラム開催しました



テーマ

今日から始める予防医学と新しい治療
～いつまでも元気に暮らすために～

令和4年12月10日（土）加古川市民会館にて、第14回県かこ県民フォーラムを開催しました。人生100年時代をいつまでも元気に暮らすために、予防医学と新しい治療についての講演がありました。師走を迎え何かと慌ただしい時期でしたが、多くの皆さまにお集まりいただきありがとうございました。



「骨粗鬆症予防と治療について」

整形外科医長兼リウマチ科医長 上藤 淳郎

骨粗鬆症とはどのような病気か、骨強度は骨密度+骨質であり、骨は鉄筋コンクリートの建物と似た構造であることや、骨粗鬆症の予防として適正な体重やビタミンD・K、カルシウムを摂取することなどを学びました。また、継続的に運動を行い日頃の生活に取り入れて予防しましょう。



「骨粗鬆症と食生活」

栄養管理課長 寺岡 典子



骨粗鬆症の予防はカルシウムだけではなくて吸収を助けるビタミンも摂取することが大切です。全世代でカルシウムは不足しており、カルシウムを多く含む食品を意識して摂取していきましょう。食事はインスタント食品を取り過ぎず、1日3回、主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく摂取することが大切です。骨粗鬆症は、よい食習慣・生活習慣を作ることで予防できます。

「片頭痛と新しい治療薬」

脳神経外科医長 荒井 篤

片頭痛は、脳や血管、神経でさまざまなことが起きて多彩な症状があり、片頭痛の治療としての3本柱の説明がありました。今回、新薬の登場により、辛い症状から解放される可能性も出てきました。片頭痛は日常生活の質を下げられています。簡易自己診断表を元に自己の傾向をチェックしました。



「消化器癌 胃がんの治療」

外科・消化器外科部長 高瀬 至郎



胃がんは、疫学的に東アジアに多く食生活や生活習慣を整え、検診を受けることは早期発見につながり非常に大きな役割を果たしています。治療は、内視鏡の治療・外科手術・薬物療法について詳しく説明がありました。

会場の皆さんからは、たくさんの質問があり、とても有意義な県かこ県民フォーラムを無事に終えることができました。

総合内科の紹介

総合内科主任部長 中村 幸子

■ その特色と本年度の総合内科

総合内科は、様々な症候に対して、より広い観点から総合的な病態診断を行い、エビデンスに基づいた診療を行う診療科です。当院における内科領域のプライマリ・ケアの中心的役割をはたしており、各専門内科のみならず、各科領域の専門医と密に連携をとりながら、より正確で質の高い診療を目指しています。(図1)

(図1)



■ 地域医療機関の先生方へ

今年度も、新型コロナウイルス対応と平行する形で、総合内科診療を行っております。

内科の各専門領域にあてはまらず、一般内科的な診療を希望される症例であれば、総合内科にご紹介ください。特に先生方で御診療に当たられている中で、病態が把握しにくく、もう少し深く検査検討することが望ましいとお考えになる場合、当総合内科へご紹介頂ければと存じます。初診予約を頂き経過をお教え頂けると、患者さんをお待たせすることなくスムーズに診療できますので、よろしく申し上げます。一般内科領域での急な病状悪化や緊急入院などには感染症病床を確保した上での限られた病床の範囲とはなりますが、できるだけ対応させていただきますので、ご連絡頂ければと存じます。病状が安定すれば、引き続き先生方で継続御加療をお願いすることも多く、よろしくお願い致します。



■ 総合内科スタッフ紹介

中村 幸子 平成 14 年卒

大北 弘幸 平成 17 年卒

藤田 泰功 平成 23 年卒

石田 育大 平成 24 年卒

眼科

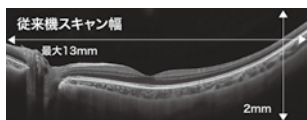


眼科部長 薄木佳子

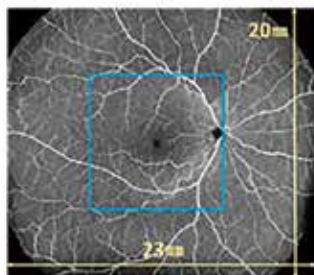
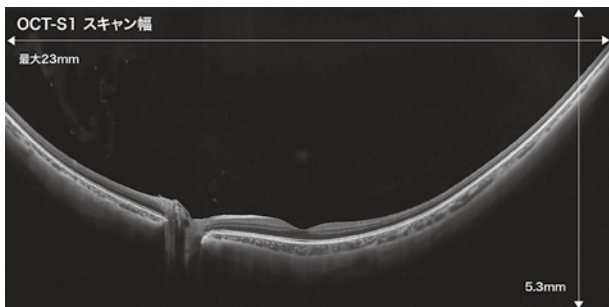


近隣の先生方におかれましては、平素よりお力添えをいただき誠にありがとうございます。

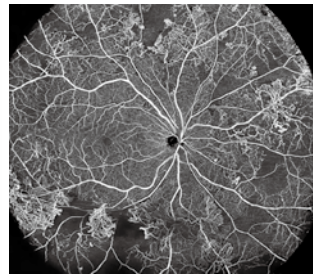
最初に当院に新しく導入された高度機器についてご紹介します。Canon社製 光干渉断層計 OCT-S1です。なんと兵庫県内で2番目に導入しています。光干渉断層計とは、眼の奥の網膜（カメラに例えるとフィルムの部分）の構造を細密に画像化する眼科機器です。本機器は従来機に比べ、短時間で超広角の画像が得られるようになり、網膜周辺までの評価ができるようになりました。また血流を評価するOCTアンギオグラフィでは造影剤を使用することなく、短時間で広角の血管造影写真が得られるようになっています。造影剤を使用しないため、造影剤アレルギーのある方や腎



臓オグラフィでは造影剤を使用することなく、短時間で広角の血管造影写真が得られるようになっています。造影剤を使用しないため、造影剤アレルギーのある方や腎



網膜のOCTA画像（約23mm×約20mm）
青枠：10mm×10mmとの撮影範囲比較



超広角OCTアンギオグラフィ
増殖糖尿病網膜症

機能障害のため造影検査ができなかった方でも網膜循環動態の評価が可能です。広範囲での撮影が可能となったため加齢黄斑変性症のみならず従来機では診断が困難であった糖尿病網膜症、眼底出血などの血管像を患者さんの負担を大幅に軽減し、早期から網膜の血管動態の把握が可能となり、診療に更なる進歩をもたらしています。

次に当院で採用している白内障手術における特殊眼内レンズについてご説明します。白内障手術では濁った水晶体を吸引除去し、人工の眼内レンズを挿入しますが、通常の眼内レンズでは乱視矯正はできません。当院では従来より患者さんの乱視の種類・程度により乱視矯正レンズ（トーリック眼内レンズ）を採用し、より良好な術後視力を目指しています。またテクニスアイハンスやレンティスコンフォートも採用しており、これらのレンズは保険適応内で従来の単焦点レンズより見える範囲を広げることが可能です。多焦点レンズ（テクニスシナジー、パンオプティクスなど他多数）も取り扱っておりますが選定療養となり、片眼につきプラス22～24万円がかかります。特殊レンズにつき興味のある方はお気軽に主治医までご相談下さい。今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

現在ある眼内レンズの種類は？

| | | |
|--|----|----------------------------------|
| 単焦点 ピントが合う距離が1つ 通常の単焦点レンズ / 乱視矯正単焦点レンズ（トーリックレンズ） | | 多焦点 ピントが合う距離が複数 多焦点レンズ |
| 遠方 ∞ | 中間 | 近方 30cm |
| 遠くのピント / 単焦点眼内レンズ | | 遠くと近くのピント* / 多焦点眼内レンズ |
| 近くのピント | | |

注意：眼の状態の効果によって、眼内レンズの種類が選択できない場合もあります。

リウマチ膠原病センター



リウマチ膠原病センター次長・リウマチ科部長兼整形外科部長 **中川 夏子**

当リウマチ膠原病センターは、2016年4月より診療を開始、内科と整形外科の専門医が月曜から金曜まで毎日診察を行っています。(内科医6名、整形外科医2名・毎日4診体制です)

■ 当センターの特徴

「断らないリウマチ科」をモットーに、兵庫県下全域、さらには近隣府県からもご紹介をいただいております。現在当センターでは約3400人の通院加療を行っています。生物学的製剤、JAK阻害薬などの最新治療薬を含めいずれの抗リウマチ薬も当院で処方可能で、使用されている患者さんも年々増加しています。生物学的製剤の自己注射指導も経験と知識の豊富な看護師が丁寧に説明いたします。もちろん関節リウマチ以外の多数の膠原病患者様の加療も行っています。また関節リウマチ関連の手術件数も、2016年4月から2022年3月までで合計656件となっております。

■ 関節リウマチの診断・治療について

現在、関節リウマチは、治療の進歩により寛解を目標とすることが可能です。また、骨破壊が発症後早期に急速に進行することも明らかとなっており、症状出現後の迅速な診断と速やかで適切な治療開始が極めて重要な時代となっています。関節リウマチの診断や薬物治療についてのご相談、または関節リウマチの手術に関するご相談も、適応の判断なども含めまして、どのようなことでも随時受け付けております。手術については、高度な手指・足部の変形など、対応は無理なのでは？と思われるような場合でも、当科では手術検討可能ですので、ぜひご相談・ご紹介ください。膠原病に関しても、疑わしいがはっきりしない、否定できないような症状があるなどの場合はぜひご紹介ください。

■ スタッフ紹介

田中 泰史 (副院長兼リウマチ膠原病センター長・リウマチ科部長 昭和57年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員
日本内科学会認定医、日本リウマチ財団登録医

中川 夏子 (リウマチ膠原病センター次長・リウマチ科部長兼整形外科部長 昭和60年卒)

日本リウマチ学会理事・専門医・指導医・評議員
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定リウマチ医・スポーツ医・
運動器リハビリテーション医
日本手外科学会認定手の外科専門医、日本リウマチ財団登録医

吉原 良祐 (リウマチ科部長兼リウマチ膠原病センター部長 昭和60年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員
日本内科学会総合内科専門医

村田 美紀 (リウマチ科部長兼リウマチ膠原病センター部長 平成6年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員
日本内科学会指導医・認定医、日本リウマチ財団登録医

上藤 淳郎 (リウマチ科医長兼整形外科医長・リウマチ膠原病センター医長 平成18年卒)

日本整形外科学会専門医

天野 典彦 (リウマチ科医長兼リウマチ膠原病センター医長 平成25年卒)

日本内科学会認定医・日本リウマチ学会専門医

塩澤 和子 (非常勤医師 昭和51年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員
日本内科学会指導医・認定医、日本リウマチ財団登録医

西田 美和 (非常勤医師 平成19年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医



検査部紹介



臨床検査は病気の診断や治療方針の決定などに必要不可欠な手段です。検査部では35名の臨床検査技師が採血を含む検体検査や輸血・病理・細菌・生理機能検査などさまざまな検査を実施しています。

今回は生理機能部門で行っている乳腺超音波検査について紹介します。乳がんは女性が患うがんの中で最も多く、9人に1人の女性が一生の間に乳がんにかかると言われていています。乳がん検診には自己触診、マンモグラフィ、超音波検査などがあり、定期受診することで早期発見に繋がります。

■ 乳腺超音波検査

乳房の表面からプローブを当て内部の様子を観察する検査で、乳房内部の腫瘍の有無、大きさ、性状などが分かります。検診で要精査になった方、良性腫瘍等のフォロー、手術後や化学療法中のフォローの方を対象に、画像（Bモード）評価と硬さ評価（エラストグラム）、血流評価（カラードプラー）などでレポートを作成し、診療に提供しています。

最近問題になっている高濃度乳房は、マンモグラフィでは乳房が白く写り病変を見つけにくいことがあります。それを補う検査法としても大活躍です。乳腺超音波検査は予約制ですが、毎日実施しており、当日検査も可能です。3台の超音波診断装置で早期診断に貢献しています。

女性技師が乳腺超音波検査を実施しています



超音波診断装置



乳腺画像

■ 地域の先生方へ

当センターの乳腺超音波検査は女性技師が実施していますので、患者さんに安心して検査を受けていただくことができます。

血液浄化センター



2016年12月に甲南病院から診療機能を受け継ぎ丸6年が過ぎました。6年前は当院では救急部で透析が必要を患者さんに治療をしており、血液浄化センターは新しい部門の立ち上げでした。進歩する医療にスタッフは自己研鑽しながら透析に関する知識と技術を磨いています。患者さんに安心して医療を受けて頂けるよう、医師・臨床工学技士・看護師が連携しチームで関わるように努めています。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患した患者さんには陰圧個室2床で対応しています。2年間で50名余りの患者さんに対応し、状態が不安定で病室から出ることができないネーザルハイフローをつけた患者さん6名も病棟個室で透析治療を実施しました。スタッフは当初、初のことに右往左往していましたが、今では正しい知識と技術をもち対応できています。フロアの患者さんの協力もありクラスターを起こすことなく経過できています。

また、患者さん一人ひとりに合わせた環境作りに目を向け、透析患者さんも少しずつ高齢化が進み一人ひとりに合わせた環境作りに目を向け、安全に透析の通院が行えるよう、ご家族の協力も得ながら治療を行っています。通院方法に問題が生じた場合は、ソーシャルワーカーと情報を共有し相談して地域の医療・介護と連携し、通院ができるよう一緒に考え透析を継続できるようにしています。透析は、生活の一部であり、治療を継続しながら社会生活、日常生活をその人らしく営めるよう、安心して医療が受けられるよう日々努めています。





県立加古川医療センター外来診療表

令和4年12月1日(木)～

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------|-----------------------|---------------|-----------------------|----------------|----------------|--------------|
| 総合内科 | 初診 | 石田 | 大北 | 藤田 | | 中村 |
| | 1診 | 埴本(さかもと) | 【尹(ゆん)】(再診のみ) | 田村 | 【尹(ゆん)】(再診のみ) | 埴本(さかもと) |
| 消化器内科 | 2診 | 廣畑 | 岡田 | 廣畑(午前) | 廣畑 | 吉治(午前)籠重(午後) |
| | 3診 | | | | 担当医 | 岡田 |
| 循環器内科 | 1診 | 福田 | 担当医(～14時) | 岩田 | 片嶋 | 岩田 |
| | 2診 | 【禁煙】 | | | 【ペースメーカー】 | 笠松 |
| 脳神経内科 | | 木村 | 木村 | 木村 | | 末廣 |
| 糖尿病・内分泌内科 | 1診 | 飯田 | 藤田 | 飯田 | 石田 | 櫻谷 |
| | 2診 | | 【後藤】 | 齋藤(午前)藤井(午後) | | 稲山(午前)津本(午後) |
| 緩和ケア内科 | 入棟面談 | 担当医 | | 担当医 | | 担当医 |
| | サポーターケア外来 (緩和ケア外来) | 田中 | | 田中 | | 田中 |
| 生活習慣病 | | 【尹(ゆん)】 肝炎 | 【戎谷(えびすたに)】 糖尿病・肥満 | 【合田】 糖尿病・肥満 | 【石井】 糖尿病・肥満 | |
| | | 【福田】 禁煙 | 装具外来 | | | |
| リウマチ科 | 1診 | 田中 | 田中 | 田中 | 田中 | 担当医1 |
| | 2診 | 村田 | 塩澤 | 塩澤 | 村田 | 担当医2 |
| | 3診 | 西田 | 吉原 | 吉原 | 吉原 | 担当医3 |
| | 4診 | 中川 | 【上藤】 | 村田 | | 中川 |
| | 5診 | 天野 | 西田 | | | 天野 |
| 腎臓内科 | 1診 | 午後 | 加藤 | | 加藤(1,3,5週) | |
| 外科・消化器外科 | 1診 | 高瀬 | 川嶋 | 小林 | 担当医 | 高瀬 |
| | 2診 | 多田羅(たたら) | 谷川 | 門馬(もんま) | | 宮永 |
| 心臓血管外科 | | | 担当医 | | | 担当医(午後) |
| 脳神経外科 | 1診 | 担当医 | 荒井 | 森下 | 担当医 | 荒井 |
| | 2診 | | 梶本 | 荒井 | | 梶本 |
| 乳腺外科 | 1診 | 石川 | 石川 | | 石川 | 担当医 |
| | 2診 | 小林 | 加藤 | | 小林 | |
| 整形外科 | 初診1診 | 青木 | 上藤 | 高山 | 西原 | 中川 |
| | 初診2診 | 高原 | | 北山 | 神村 | |
| | 再診1診 | 【上藤】 | 中川 | 原田 | 【高山】 | |
| | 骨粗鬆症 | 午後 | 【上藤】 | | | |
| 形成外科 | 1診 | 櫻井 | 交代制 | 櫻井 | 櫻井 | 櫻井 |
| | 2診 | 谷口 | | 谷口 | 谷口 | 谷口 |
| | 3診 | 【伊藤】 | | 【伊藤】 | 【伊藤】 | 【伊藤】 |
| 皮膚科 | 初診/予診 | 【永濱】 | 【熊谷】 | 【高井】 | 【山田】 | 【永濱】 |
| | 1診 | 山田 | 足立 | 足立 | 増田 | 足立 |
| | 2診 | 熊谷 | 永濱 | 増田 | 熊谷 | 山田 |
| 眼科 | 1診 | 薄木 | 薄木 | 石川 | 薄木 | 薄木 |
| | 2診 | 徳川 | 徳川 | 徳川 | 石川 | 石川 |
| | 3診 | 秋田 | | 秋田 | 秋田 | |
| 泌尿器科 | 1診 | 丸山 | 佐藤 | 田中 | 丸山 | 田中 |
| | 2診 | | 大場 | | | 大場 |
| 放射線科 | (IVR) | 担当医 | | 担当医 | | 担当医 |
| | (治療) | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 |

予約受付時間 平日 9:00～18:30 土曜日 9:00～11:30(祝日除く)

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※【 】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

お願い 患者さんの待ち時間短縮のため、FAXまたはインターネットで初診予約をお取り下さい。
インターネットで初診予約を行う場合は、登録医の登録をお願いします。